

令和7年第7回9月定例会一般質問

質問日	質問順	議席番号	質問者	要綱 ページ
9月8日	1	15	齋 藤 勘一郎	1
	2	19	佐 原 正 秀	1
	3	1	渡 部 忠 寛	2
	4	13	後 藤 誠 司	4
9月9日	5	20	齋 藤 仁 一	5
	6	12	渡 部 一 樹	6
	7	4	高 畑 孝 一	7
	8	5	山 口 文 章	8
9月10日	9	6	十二村 秀 孝	9
	10	9	小 島 雄 一	10
	11	17	小 林 時 夫	11
	12	3	坂 内 まゆみ	12
9月11日	13	2	田 中 修 身	13
	14	10	矢 吹 哲 哉	15
	15	8	上 野 利一郎	16
	16	21	山 口 和 男	17

一 般 質 問 要 綱

令和 7 年第 7 回 9 月 定例会

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
1	15	齋藤勘一郎	1 市長の政治姿勢について (1) 遠藤市長はこれまでの 2 期目、4 年間の市政運営についてどのように総括されておりますか、伺います。 (2) 今般市では、将来にわたり安定的かつ持続可能な財政運営に向けて、ということで財政健全化プラン（案）を発表いたしました。 自主財源の少ない本市の財政状況の中にあって、この難局を乗り越え安定期に移行するためには、この財政健全化プランを確実に実行する強いリーダーシップが求められ、先ほどの今任期の総括を踏まえ、来年 1 月に執行される市長選挙についてどのように判断し、決意されますか、伺います。
			2 有害鳥獣対策について 今年も春先から有害鳥獣の被害が発生し、出没区域も拡大しており、その対策についてしっかりと取り組んでいかなければと思います。 (1) 猿、熊、イノシシ、ニホンジカの捕獲頭数の実態について、今年度、7 月 31 日までの実績について、旧市町村ごとに伺う。 (2) 電気柵補助事業の今年度の計画について、旧市町村ごとに何件あるのか、伺う。 (3) 貸出し用電気柵の保有台数及び貸出し台数について、旧市町村ごとに 3 か年分について伺う。
2	19	佐原正秀	1 農林業を取り巻く環境整備の促進について 日本の農業を取り巻く環境は、一層厳しさを増しております。環太平洋パートナーシップや欧州連合などの経済連携がさらに進展しており、農産品の供給は、今、ますますグローバルに展開していくことが予想されるところであります。日本の農業は食糧管理法から主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律に引き継がれ、農地法から農業基本法によって長らく保護政策の下にありましたが、農業合意により農業保護政策は大きく見直されることになったものの、その後も農業者戸別所得補償制度などの変遷を経ながら保護されてきました。ようやく、改正農地法により株式会社でも農地の借用が可能となり、また農業生産法人の要件が緩和されることにより農地集積が進むことで、生産性向上に向けて大きく動き出された矢先に、今、米不足による問題から政府も大きく揺れております。今日、日本農業は過渡期にあり、農業従事者の減少と高齢化が進んでおり、これらに伴い、後継者不足や耕作放棄地の拡大が心配されるところであり、農業従事者の経営管

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			理能力の向上や流通機構の見直し、技術革新の推進など、取り組むべき課題が数多くあります。そこで次により政策と対応についてお尋ねいたします。 (1) 岐路に立つ米、水田政策について (2) 農業の人材育成について (3) 親元就農支援の政策について (4) 森林経営管理制度の導入促進について (5) 持続可能な米政策の対応について (6) 経営を発展させたい法人の支援体制について
			2 老朽化の危機を救う建設DXの取組について 多くの人々にとって、橋や道路、上下水道、土工といったインフラが正常に機能するのは当たり前のことと思われ、日常の中で、その存在を意識することはありません。しかし、一たび不具合が発生すれば、我々の日常は一変し、失って初めてその有り難みを知ります。2025 年 1 月、埼玉県八潮市で大規模な道路陥没事故が発生しました。何らかの理由で道路下に空間が形成され、突然道路が陥没しました。こうしたリスクは、我々の社会の至る所に潜んでおります。インフラの劣化は、気付かない形で静かに進行しております。その劣化速度は状況により大きく異なりますが、劣化が顕在化して手に負えなくなる前に、タイムリーなアクションを打つことが極めて重要になります。しかし、重要と分かっている、目の前で実際に問題が起こらなければ、人はなかなか動きません。そこで、先手を打つには様々な技術を駆使することが求められます。例えば、人の目では検知できないものを可視化すること、あるいは数値解析を用いたシミュレーションにより、劣化の進行を予測するなどの対策が重要になり、インフラメンテナンスのデジタル技術変革につながるものと考えますが、次によりお尋ねいたします。 (1) 我々の目指す社会実装について (2) 橋のセルフメンテナンスについて (3) データで見る小規模行政の課題への対策について (4) 水道管の迅速で的確な更新計画について (5) 課題を解決するDXとSXの取組について
3	1	渡 部 忠 寛	1 物価高騰対策生活者・事業者支援事業の効果について 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金による物価高騰対策生活者・事業者支援事業の効果検証について伺う。

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			(1) 喜多方市にもたらした経済効果について伺う。 (2) ペイメント別の利用割合と金額について伺う。 (3) 市内事業者及び市民の満足度について伺う。 (4) 3 か月の実施期間を大幅に短縮し打ち切りとなったが、その要因及び多く利用された時期について伺う。 (5) 業種別、業態別の利用割合と利用金額について伺う。 (6) 今回の事業に対する高齢者の反応について伺う。 (7) 同交付金は令和 6 年度に 3 回予算化された。令和 7 年度においても 2 回目、3 回目の交付の可能性があるが、昨年度と同様に予算化された場合に今年度の使途はどのように予定しているか、伺う。 (8) 地域内循環が高い「地域通貨」の導入についての考えを伺う。
			2 選挙投票率向上と経費削減の取組について 全国的に投票率が低迷している昨今、全国の地方自治体では投票率向上に資する試みを続けている。年代別に投票率にばらつきはあるが、経費をかけても投票率が向上しないのが現状である。 投票所については 2001 年に全国で 53,000 か所あったが、20 年程で 7,000 か所以上減少し、特に過疎地域を中心に投票所の統廃合が進んでいる。そのような背景を踏まえ、選挙投票率向上と経費削減の取組について伺う。 (1) 合併直後と比較し、投票所が減少した地域について伺う。 (2) 投票率向上のために実施してきた内容について伺う。 (3) 直近の選挙における年代別投票率について伺う。 (4) 直近の選挙における期日前投票と投票日の投票率について伺う。 (5) 不在者投票について ア 入院患者及び施設入所者の不在者投票件数について伺う。 イ 自宅にいる身体障がい者手帳保持者、戦傷病者、要介護 5 認定者のそれぞれの不在者投票登録者数と投票件数について伺う。 (6) 直近の選挙における選挙経費について伺う。 (7) 投票率が向上し、経費削減にもつながる車両を用いた「移動投票所」の導入ができないか伺う。
			3 経費縮減等について 全国の多くの地方自治体では財政健全化の取組を実施しているが、生活や教育、インフラ整備、防災減災などの必要な予算を確保しながら経費の縮減をしている。近年の喜多方市の財政力指数、経常収支比率、財政調整基金については多くの市民が危惧しているところ

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			である。 一方で、安易な予算の圧縮は市勢の停滞や地方交付税の減額を招くことから、限られた経営資源（人材・財源・資産）を最適配分し、住民福祉を最大化するために戦略的に財政の見直しを図る必要がある。 以上の点から、「人件費の経常的支出削減や受益者負担」について、検討できる点はないか、尋ねたい。 (1) 勤労青少年ホーム管理の人件費について伺う。 (2) 本庁舎駐車場のガードマン配置経費について伺う。 (3) 本庁舎閉庁時の駐車場有料化についての考えを伺う。 (4) 花しょうぶの湯の市外利用者料金の設定についての考えを伺う。 (5) その他、財政健全化に向けた取組予定事項について伺う。
4	13	後 藤 誠 司	1 山都中学校・高郷中学校の統合整備構想（案）について 令和 5 年度に策定した「喜多方市立小中学校適正規模適正配置第 1 次実施計画」においては、「令和 10 年度に山都中学校と高郷中学校を統合する。新たな中学校の場所は、山都地区の既存施設のある場所を含め、より適切なところに設置する。」となっていた。 6 月 12 日開催の全員協議会において、唐突に「山都中学校・高郷中学校統合整備構想（案）」が示され、説明があった。 そこで、以下の点について伺います。 (1) 山都中学校・高郷中学校の統合中学校の場所を旧耶麻農業高等学校とした理由について伺います。 (2) 旧耶麻農業高等学校校舎は築 51 年が経過し、体育館は築 55 年が経過している。老朽化の懸念はないのか、伺います。 (3) 構想にある大学農学部等サテライトキャンパス（仮）の誘致見込みと、地域の方が竹細工、手芸等の作業をするコワーキングスペースの具体性について伺います。 (4) 構想の整備金額と財源について伺います。 (5) 山都町・高郷町の各小中学校の保護者・行政区長会への説明及び協議の状況と、その中で出された主な質問と意見について伺います。 (6) 旧耶麻農業高等学校への見学会を実施したと聞きますが、実施時期と参加メンバー、参加人数、参加者の主な感想について伺います。 (7) 山都中学校及び高郷中学校統合準備委員会の立ち上げ時期と委員の人数・メンバーについて伺います。

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			2 有害鳥獣被害及び対策について このことについては何度か質問しておりますが、今年度の状況について、以下の点を伺います。 (1) 今年度のツキノワグマ、イノシシ、ニホンザルの旧市町村ごとの出没数と捕獲数を伺います。 (2) 今年度のツキノワグマ、イノシシ、ニホンザルの旧市町村ごとの農作物被害面積と被害金額を伺います。 (3) 令和 5 年度からのツキノワグマ、イノシシ、ニホンザルの捕獲数及び農作物被害金額の推移を伺います。 (4) 電気柵購入支援事業補助金の活用について ア 今年度の計画作成地区における電気柵購入支援事業補助金の決定件数及び交付金額について伺います。 イ 今年度の団体・法人に対しての電気柵購入支援事業補助金の決定件数及び交付金額について伺います。 ウ 今年度の個人に対しての電気柵購入支援事業補助金の決定件数及び交付金額について伺います。 (5) 高郷町では、昨年より猿が町の中心地区にも群れで出没し、農作物被害も発生しています。昨年の一般質問の答弁では、モニタリング調査により群れを把握し、対策を実施していくとのことだったが、結果はどのようなになったのか、伺います。 (6) 市街地にいる熊を駆除するため、改正鳥獣管理法が 9 月に施行されるが、本市の対応を伺います。
5	20	齋 藤 仁 一	1 財政健全化プランについて (1) 財政状況について「十分な見直しに至らなかったことも、経常的支出が増加している要因の一つ」との見解だが、なぜそのようなになったのか、また、この責任はどこにあるのか、伺いたい。 (2) 今後計画しているひとづくり・交流拠点複合施設整備事業、小中学校適正規模適正配置の取組、広域圏組合のごみ処理施設整備事業に対応しつつとの見解であるが、なぜ見直しをしないのか、伺いたい。 (3) 歳入の確保の視点では 3 億円の歳入を見込んでいるが、取組項目ごとにいくら見込んでいるのか、伺いたい。 (4) 総人件費の抑制の視点では 1 億円の削減を見込んでいるが、取組項目ごとにいくら見込んでいるのか、伺いたい。 (5) 公共施設の在り方の見直しの視点では 2 億 5 千万円の削減を見

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			込んでいるが、個別施設計画の見直しをどのように進めどう削減するのか、伺いたい。 (6) 事業全般の見直しの視点では3億円の削減を見込んでいるが、取組項目ごとにいくら見込んでいるのか、伺いたい。 (7) 各種補助金等を見直しの視点では3千万円の削減の見込みであるが、取組項目ごとにいくら見込んでいるのか、伺いたい。 (8) 内部管理経費の徹底した削減の視点では2千万円の削減の見込みであるが、取組項目ごとにいくら見込んでいるのか、伺いたい。
			2 山都・高郷中学校の統合計画について (1) 6月12日全員協議会における「山都中学校・高郷中学校統合整備構想(案)」の説明後、山都・高郷町の各小中学校の保護者説明会ではどのような意見が出されたのか。また、その合意内容について伺いたい。 (2) 両町の行政区長及び山都まちづくり協議会での説明会では、どのような意見が出されたのか。また、その合意内容について伺いたい。 (3) この結果を受けて、どのような対応をするのか伺いたい。 (4) この統合によって、どのような中学校を目指すのか、伺いたい。
			3 物価高騰対策生活者・事業者支援事業(ペイメント)の結果について (1) 当初実施を5月～7月の3か月間としていたが、実際はどうだったのか、伺いたい。 (2) 事業者及び利用者にアンケート調査をしたが、どのような結果だったのか、伺いたい。 (3) 利用者の市内と市外の利用状況はどうだったのか、伺いたい。 (4) この結果を受けて、どのような総括をしているのか、伺いたい。
6	12	渡 部 一 樹	1 人口減少対策について (1) 本市の人口減少の要因どのように分析しているのか、見解を伺いたい。 (2) 合計特殊出生率の推移について伺いたい。 (3) 若者に選ばれるまちになるには、どのような施策が効果的だと考えているのか、伺いたい。 (4) 若者に届く広報戦略について見解を伺いたい。
			2 財政再建について (1) 現在の厳しい財政状況に陥った原因は何か、伺いたい。

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			(2) 減債基金残高の回復を含めた計画にすべきと考えるが、見解を伺いたい。 (3) 計画期間である令和 9 年度までに一般財源 10 億円以上の歳出減を掲げているが、各項目の積算根拠について伺いたい。 (4) 職員数は、どれだけの期間をかけ、どの程度見直すのか、伺いたい。また、一般職の給与削減に踏み込むのか、伺いたい。 (5) 職員人事交流、職員派遣、旅費の見直しは、人材育成の観点からより充実させる方針にすべきと考えるが、見解を伺いたい。
7	4	高 畑 孝 一	1 相続放棄された家屋・田畑等について 先の全員協議会で、空家特措法に基づく略式代執行の説明があったが、こうした相続放棄による事案は、今後多くなることが予想される。そこで、以下の点について伺います。 (1) 立木が倒れたり、家屋の破片が飛散し隣家に被害が生じた場合、誰が損害の賠償をするのか、伺います。 (2) 有害鳥獣が住みつき、近隣に被害が出た場合、その駆除は誰が行うのか、伺います。 (3) 相続財産清算人を地方公共団体が申立てをすることはできるのか。その場合の予納金は誰が負担するのか、伺います。 (4) 農地の場合、そのまま放置されれば周囲の営農に大きな影響が出ることが懸念されるが、どのような対策があるのか、伺います。 (5) 冒頭で述べた略式代執行がされた跡地は国庫に帰属するのか、伺います。 (6) 共有林の固定資産税は、相続放棄された持ち分に相応した税額分が減額されるのか、伺います。 (7) 空家等管理活用支援法人を利用する方法はないのか、伺います。 2 下水道整備地区内での排水路からの悪臭対策について 下水道が整備された地区においても単独浄化槽や合併浄化槽等からの排水があり、排水溝からの悪臭があります。特に、降雨の少ない夏場はその匂いが大変です。こうした問題への取組について伺います。 (1) 排水路の勾配不調や詰まり等があればスムーズに流れないため、悪臭の原因となるが、そのような箇所にはどう対処されているのか、伺います。 (2) 汚泥やヘドロが堆積した場合の清掃は大切なことだが、排水路のコンクリート板が重く、容易に蓋を開けることができない。よって、

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			軽くて堅牢な蓋に順次更新をして改善を図っていただきたい。見解を伺います。 (3) 降水が少ない夏場は臭いがひどくなる。排水路に水を流し汚水等を幹線排水路に流し込んでどうか。見解を伺います。 (4) 排水設備設置助成制度を供用開始後 3 年経過した世帯にも適用してどうか、伺います。
8	5	山 口 文 章	1 ネーミングライツ事業について 本市は令和 7 年 8 月 1 日から、市が所有する施設の維持管理・運営費に充てるため、新たな財源の確保及び知名度、集客力、サービスの向上を図ることを目的として、ネーミングライツ・パートナーの募集を開始しました。 私自身、令和 5 年 3 月、6 月定例会において、本市におけるネーミングライツの導入について質問してきました。導入にあたり様々な経緯はありましたが、早期の募集に繋がりが良かったと思っております。しかし、募集が始まって応募する企業がいないと何も始まりません。そこで本市のネーミングライツ事業の取組について伺います。 (1) 今回募集する対象施設として、募集 1 は押切川公園野球場・押切川公園体育館・押切川公園スポーツ広場・押切川公園自由広場。募集 2 としてひとづくり・交流拠点複合施設アイデミきたかたが対象になっています。それぞれの募集要項の詳細な内容について伺います。 (2) 募集に対する現在までの問い合わせ数、募集期間、周知方法について伺います。 (3) 財政健全化プランにおける、歳入の確保で目標額 3 億円となっていますが、ネーミングライツ事業の取組での見込み額について伺います。 (4) 本市のネーミングライツ事業は、今回は「施設特定型」となっておりますが、今後の本市の事業の進め方について伺います。 2 有害鳥獣被害対策について 本市も毎年有害鳥獣被害が発生していますが、各事業で対策を実施しており、効果は出ていると思っております。しかし、電気柵等で対策している箇所は被害は少なくなっていますが、対策が実施されていない箇所は被害が多く発生しています。有害鳥獣目撃も頻繁にあり、捕獲頭数も増えてきています。有害鳥獣の個体頭数も増加しているのが実態です。これらを踏まえて、市の有害鳥獣被害対策の現状と今後

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			の対策拡充について伺います。 (1) 今年度の市内有害鳥獣捕獲頭数、農作物被害金額、また過去 3 年間の県指定管理事業での捕獲実績と、市の捕獲実績の推移について伺います。 (2) 県と市の捕獲報償費の単価について伺います。 (3) 各補助金の実績、過去 3 年間の補助金実績(件数及び金額)の推移について伺います。 (4) わな設置補助者講習会について伺います。去年の実績、今年の開催予定について伺います。 (5) 今定例会で提案予算である緊急銃猟対応事業の内容について伺います。 (6) 捕獲従事者育成事業補助金の中で、わな猟免許を取得した人に対する箱わな、くくりわなの購入補助金などの拡充と、行政区に対する箱わな、くくりわなの購入補助金の新設について伺います。また今後の有害鳥獣捕獲対策について伺います。
9	6	十二村秀孝	1 喜多方ラーメンを核とする産業振興について 本市では、市内ラーメン業界からの要望等を踏まえ、県内で先駆けて夏黄金の栽培に取り組んだ結果、次期作に予定する種子量として 760 kg が確保され、喜多方ラーメンのブランド力向上につながる環境が整ってきております。そこで次の 4 点について伺います。 (1) 喜多方ラーメンブランドプロジェクトにおいて今年度計画されている取組について伺います。 (2) 今年 3 月に廉価版「極上の喜多方ラーメン “KODAWARI” (こだわり)」の実証販売が行われましたが、販売状況をどのように総括しているのか、伺います。また、今後の普及拡大に向けた進め方について伺います。 (3) 喜多方産夏黄金の生産拡大に向けた今後の進め方について伺います。 (4) 地域経済の好循環が期待できる小麦製粉工場の誘致に取り組むべきと考えますが、市の考えを伺います。 2 デジタル地域通貨「会津コイン」の普及拡大について 会津コインは、会津若松市に拠点を置く IT 企業が開発したキャッシュレス決済アプリで、会津 17 市町村にある加盟店で決済できる地域通貨であります。この仕組みによって、既存のキャッシュレス決済では地域の外に流出してしまうお金やデータを地域に残し、地域経済

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			の循環やデータを利用した新たなビジネスづくりを目指しております。そこで、次の 3 点について伺います。 (1) 会津管内の事業者における会津コインへの加盟状況と本市事業者の加盟状況について伺います。 (2) 本市キャッシュレス決済ポイント還元事業が好評を博し、期間を前倒しして終了となりましたが、仮に会津コインの普及率が本市で高い状態であったと仮定して会津コインで同様の取組を実施した場合、どのようなメリットがあったと考えられるか、伺います。 (3) 会津 17 市町村がスクラムを組み、会津コインの普及拡大をすべきと考えますが、市の考えを伺います。
			3 公共施設等における受動喫煙対策について 国の改正健康増進法を踏まえ、本市では望まない受動喫煙を防止するための対策を強化するため、喜多方市公共施設等における受動喫煙対策に関するガイドラインを策定し、令和 5 年 4 月より市所有の公共施設内では全面禁煙しております。一方で、たばこ税による税収は地方自治体における安定した財源の一つとなっております。そこで次の 3 点について伺います。 (1) 本市ガイドラインにおいて、市所有の公共施設敷地内に屋外喫煙所を設置不可とした理由を伺います。 (2) 道の駅などの市所有公共施設近隣における路上喫煙や吸い殻ポイ捨ての現状をどのように捉えているのか、伺います。 (3) 屋外で受動喫煙防止の措置が取られた場所に限り、喫煙場所を設置すべきと考えますが、市の考えを伺います。
10	9	小 島 雄 一	1 産業政策について 財政再建に臨む本市にとって歳出の見直しをするのは当然のことであるが、歳入を増やすため、稼ぐ力を強くしていくことが重要である。また、その稼ぎが地域内で循環することによって、より豊かな地域経済をつくることができる。穴のあいたバケツに水を汲んでも溜まらないように、本市経済の穴を塞ぐことも歳出削減同様に重要である。そこで伺う。 (1) 市内総生産の直近 3 か年（令和 2 年度から令和 4 年度）の額を伺う。また、それに伴う直近 5 か年（令和 3 年度から令和 7 年度）の市民総所得額、個人市民税額の増減を伺う。 (2) 地域内の経済循環率をどのくらいと想定するか、また経済循環率の目標をどのくらいに設定するか、伺う。

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			(3) 農産物の地産地消に関し、それぞれ直近3か年（令和3年度から令和5年度）の実績について伺う。 ア 小麦の生産面積、収穫量、品質、価格を伺う。 イ 酒造好適米の生産面積、価格を伺う。 ウ そばの生産面積、収穫量、品質、価格を伺う。 2 教育問題について 令和2年、コロナ禍真っ最中、学校に登校できなくなった子供たちにオンラインの授業ができるようにするために国はGIGAスクール構想を急速に進めた。子供たち一人に一台配られたタブレットがデジタル教育革命を起こすかのように言われて始まった本政策も本年度5年が過ぎようとしている。タブレットの更新時期を迎えて、その教育における効果を検証して、次の5年に向かう必要があると思う。そこで伺う。 (1) この5年のGIGAスクール構想の本市における現状と課題点を伺う。 (2) デジタル教科書の使用の現状を伺う。 (3) 教育先進国と言われるフィンランドでは、教育へのデジタル導入の見直しが始まっている。子供たちの読解力の急激な低下が起きているようだが、本市においてはどうか、伺う。 (4) 国立情報学研究所の新井教授らが提唱するリーディングスキルテストの導入や、指さし確認、教科書への共書きなどの活用ができないか、伺う。 (5) 自然体験を通じた情操教育、特に「良心」を育むための教育をどのようにしているのか、人格の中心はその人の道德倫理であり、さらにその中心は「良心」だと思うので、考えを伺う。
11	17	小林 時 夫	1 防災・減災対策について (1) 避難所対策について ア 避難所における「スフィア基準」の見解について イ 避難所の暑さ対策について ウ 福祉避難所について (2) 自主防災組織について ア 自主防災組織の推進経過と現状について イ 自主防災組織の増加対策について 2 今後の市営住宅について (1) 市営住宅の現状について

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			ア 市営住宅の老朽化の現状について イ 用途廃止住宅の今後について (2) 市営住宅の今後について ア 若者、子育て住宅について イ 高齢者向け住宅について ウ 市営住宅の設備充実について
12	3	坂内まゆみ	1 喜多方市の財政健全化に向けた取組について (1) 少子高齢化社会、人口減少の中にあつて、税収の減少は当たり前のことです。このままの市政運営では、財政状況の悪化はどんどん深刻化するものであり、これまでの事業を廃止・縮小していかなければ、歳出規模は同じであります。市では、財政健全化プランを策定するとし、3年間で実施していくとしていますが、事業を廃止・縮小する場合、市民の皆様へ御理解いただくとともに、市民ニーズの把握が必要であると考えます。どのようなスケジュール感で、どのような方法で、市の財政状況を市民に周知し、ニーズ調査と事業の廃止・縮小の検討をしていくのか、市の考えを伺います。 (2) 喜多方市は、平成 18 年に旧喜多方市、塩川町、山都町、熱塩加納村、高郷村が合併し、現在に至ります。合併前の市町村が持っていた施設やイベントは、どのように整理され、スリム化してきたのか、伺います。 (3) 温泉施設は、塩川町以外の市町村で合併前から設置されており、合併後も継続しております。温泉施設の維持費用は莫大なものがありますが、これまで継続してきたということは、入込数や維持費用、市民ニーズの調査をした分析の結果と考えます。これまでどのような分析をもって継続の決定をし、今後、財政健全化プランが策定された場合、どのように整理していくのか、伺います。 (4) 市民の方から「花よりも福祉を」という声を聞くことがあります。三ノ倉の花畑は、「花でもてなす喜多方」のフレーズとともに 10 数年前ごろから実施されてきましたが、歳月の流れとともに年々入込数が減少していると聞いています。原因の一つとしては、他市町村でも花畑が見られる場所が多くなった点もあると思います。「花でもてなす喜多方」は一定の成果を果たしたとし、財政健全化プランが策定された場合、何に焦点を当てプランを策定していくことが望ましいと考えているのか、市長の考えを伺います。 2 地域運営組織について

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			(1) 人口減少、高齢化が進む地域社会において、これまでのような集落の維持は難しくなってきます。そのため、地域の住民が主体となって地域の課題を解決し、暮らしを守っていく地域運営組織の設立が必要であり、集落支援員の活用が大切であると考えています。喜多方市においては、山都まちづくり協議会、こまがた元気会、たかさと里山活性化委員会が設立され、それぞれ地域ニーズにあった活動をしています。合併前の喜多方市においても、小学校単位などで地域運営組織が必要であり、今後、どのように地域運営組織の設立を支援していくのか、考えを伺います。 (2) 地域運営組織の設立や活発な運営にはキーパーソンとなる人材が必要です。キーパーソンとなる人材育成はどのようにしていくのか、考えを伺います。 (3) 各地域には「生活支援支え合い会議」や「老人会」、「区長会」など様々な組織があります。人口減少や高齢化が進む地域においては、会を担う人材が同じメンバーということも少なくはありません。地域運営組織を設立し、各組織を巻き込んでいくことも必要だと考えますが、市の考えを伺います。 3 緊急通報システムについて (1) 緊急通報システム事業は、高齢者にとって安心して生活をするために、重要な事業であります。アイネットの場合の緊急通報システム事業協力員は、申請時に設定するものですが、協力員の事情なども毎年変わるものであり、見直しが必要であると考えます。市では、少しずつ見直しをかけているとのことですが、進捗状況を伺います。 (2) 緊急通報システム事業協力員の情報は、消防や警察、民生委員などと共有を図るべきと考えますが、現状を伺います。
13	2	田 中 修 身	1 財政健全化プランについて (1) 市町村合併から 20 年、初めての財政健全化プランとなります。今回の財政健全化プランには、財政状況についての項目はありますが、原因についての項目がありません。これでは不十分です。 「1 喜多方市の財政状況」の中で、「新型コロナウイルス感染症、エネルギー価格・物価高騰、令和 4 年 8 月発生の豪雨災害に対する迅速な対応、さらに令和 6 年度の近年まれにみる豪雪災害に加え、人件費・物件費の高騰による職員人件費や扶助費等の経常的支出の大幅な増加への対応等により」との記述がありますが、これは

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			喜多方市に限ったことではなく全国どこでも同じで、理由にはなりません。 市町村合併から新喜多方市が誕生してから 20 年、喜多方市独自の具体的な原因は何だと考えますか。市長の考えを伺います。 また、今回の財政健全化プランで経常収支比率を、結果として、どこまで改善する考えですか。伺います。 (2) 地方自治体の役割は、住民の暮らしを良くすること、福祉の向上にあります。財政健全化プランの「4 財政健全化に向けた視点・取組の進め方・目標額」にある「使用料・手数料の全庁的な見直し」や「各種補助金等の見直し」は、住民の負担増や福祉の切捨てになってはいないでしょうか。自治体の存在意義が問われます。 また「5 財政健全化に向けた視点ごとの取組項目」には、大型建設事業に対する記述がありません。財政健全化という新たな局面に入った今、ひとつづくり・交流拠点複合施設第 2 期工事などの大型建設事業は、見直しあるいは凍結すべきです。市長の考えを伺います。 (3) 今回の財政健全化プランは、財政調整基金の基金残高の回復が主な目的になっています。 財政健全化プランの冒頭「本市では、少子高齢化・人口減少により市税の大幅な増加が見込めず」と述べられていますが、市税を増やすには市民の所得を増やすことです。そのための政策が必要です。市長の政治姿勢・リーダーシップが求められています。市長の考えを伺います。 2 山都中学校・高郷中学校統合整備構想（山都・高郷地区育みの丘構想）（案）について (1) 今回の山都中学校・高郷中学校統合整備構想（山都・高郷地区育みの丘構想）（案）は、6 月 12 日の全員協議会で突然提案されたものです。手順が間違っていると考えます。 旧県立喜多方東高校跡地の利活用については、市民や市内団体等との懇談会を開催して広く意見や提案等を求めました。旧県立耶麻農業高校跡地の利活用についても、同様の手順を踏むべきです。なぜそうしなかったのでしょうか。この構想（案）はどのような手順を踏んで、提案（決定）されたのでしょうか。市長の明確な答弁を求めます。 (2) この構想（案）の特徴は、大学農学部（群）等のサテライトキャ

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			ンパス（仮）としての利用です。そこで伺います。 ア この構想に至るまでの経過を伺います。 イ サテライトキャンパスを誘致できる見込みはあるのですか、伺います。また、現在の進捗状況についても伺います。 ウ サテライトキャンパスを誘致できなかった場合、山都中学校・高郷中学校統合は、どのようになるのですか。伺います。 (3) 山都中学校及び高郷中学校統合準備委員会において、統合校舎の場所が決定されるようですが、旧県立耶麻農業高校跡地利用が否決された場合、今回の構想（案）はどうなるのでしょうか。伺います。 (4) 山都中学校及び高郷中学校の統合中学校が、令和 10 年 4 月に旧県立耶麻農業高校跡地に開校する場合、大規模な施設・設備の改修が必要となり莫大な予算が必要です。 このことについて、財政計画はどのようになっているのでしょうか。伺います。
			3 高齢者の補聴器購入補助について (1) 高齢者の加齢性難聴（老人性難聴）は、認知症の危険因子と言われています。自治体による補聴器購入補助が広がっています。 全国では 43 都道府県 473 自治体、県内では 11 自治体が補聴器購入補助を実施し、会津では、会津若松市と金山町が実施しています。喜多方でも、市民からの要望の多い補聴器購入補助を実施すべきです。市長の考えを伺います。 (2) 加齢性難聴は、初期は自覚症状に乏しく気付きにくいと言われています。早期発見のためにも集団検診の個別案内の中に「聞こえのチェックシート（難聴障害度質問票）」を同封して、専門医の受診等につながるようにしてください。市長の考えを伺います。
14	10	矢 吹 哲 哉	1 喜多方市財政健全化プラン（令和 7 年度～令和 9 年度）について (1) 5 つの視点から、取組の進め方・目標額を示している。 ア 目標額の根拠について伺う。 イ 各視点ごとの取組項目等示されているが、目標額は示されていない。なぜ示さないのか伺う。示すべきではないのか。 ウ 「事業全般の見直し」の視点では、取組の進め方において、「令和 8 年度に向け、関係者への事前説明」とある。具体的にいつからどうするのか伺う。 エ 来年 1 月に市長選挙があるが、令和 8 年度の予算編成方針と具

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			体的な編成（骨格予算と全体予算）をどのように策定するのか、伺う。また、「財政健全化プラン」が予算を縛ること（枠）にならないのか。 オ 策定の目的の項に、「今後計画しているひとづくり・複合施設整備事業や小中学校の適正規模適正配置の取組、広域圏組合におけるごみ処理施設整備等事業にも対応」とあるが、どういうことなのか。見直すということなのか伺う。 カ 中期財政計画（令和 7 年度～令和 11 年度）は、いつまで策定するのか、伺う。 (2) 市長の任期は来年 2 月 11 日までである。せめて、2 期目中間年で示すべきではなかったのか。市政の責任者としての責任について伺う。 (3) 歳入の確保・地域経済振興策（ビジョン）について ア 「財政健全化プラン」の歳入の確保の取組では、市民税・地方交付税の確保・増収に触れていないのはなぜか、伺う。 イ 市民税・地方交付税の増収をいかに図るかが必要であり、中心課題ではないのか、伺う。 ウ 地域経済の展望・ビジョンを見直し、対策を立てる必要があるが、どうするのか、伺う。 (ア) 農林業ビジョンについて (イ) 工業振興ビジョンについて (ウ) 商業振興ビジョンについて エ 国・県に対し、消費税の減税、物価高騰・人件費高騰対策の取組を求めるべきと考えるが、市長はどのように考え、何をするのか、伺う。
15	8	上野利一郎	1 三ノ倉高原での各種事業について 三ノ倉高原での各種事業の、過去 3 年間の実績を以下の 5 点について伺います。 (1) 春・夏の花畑事業のフェスタ実施日数と花畑整備協力金の推移を伺います。 (2) 春・夏の花畑事業のフェスタ期間中の渋滞等の混雑状況を伺います。 (3) 冬季スキー場の営業日数とリフト券の販売額について伺います。 (4) 春・夏の花畑事業委託費と冬季間のスキー場管理委託費の推移に

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			ついて伺います。 (5) 花畑委託事業とスキー場管理について、それぞれの課題と対策について伺います。 2 移住・定住施策について 若者の移住・定住に結び付けるための事業について、過去 3 年間の実績を以下の 2 点について伺います。 (1) 企業誘致活動で誘致できた企業数と、それによる雇用の増加数について伺います。 (2) 移住者支援に係る事業の実績について ア 移住者住宅取得支援事業について伺います。 イ 移住希望者お試し滞在支援事業について伺います。 ウ 奨学金償還支援事業について伺います。 エ 東京圏からの移住に関する補助金について伺います。 オ 移住相談や定住コンシェルジュの活動実績について伺います。
16	21	山 口 和 男	1 インフラ老朽化に伴う市民生活へのリスクと本市の予防的安全管理体制について 今年に入り、下水道点検作業中のガス発生による死亡事故、さらには道路の陥没によってトラックが巻き込まれるという重大事故が全国各地で報告されています。これらの事故は、老朽化した都市インフラが想定外の事故を招きかねないこと、また、日常生活のすぐ足元に潜むリスクを可視化した象徴的な事例と考えます。本市においても、同様のリスクがないか、予防・点検・対応の体制について改めて確認する必要があると考え、以下の点について質問します。 (1) 下水道施設の安全対策について ア 本市の下水道施設における点検・清掃作業の実態について (ア) 本市が管理する下水道施設の点検・清掃は、年間、何回程度実施されているか。 (イ) 作業を実施しているのは市の職員か、それとも委託業者か。 イ 有毒ガスの発生リスクに対する認識と管理について (ア) 下水道内での硫化水素やメタンなど有毒ガスの発生リスクをどう認識しているか。 (イ) 事前にガス濃度の測定を行っているか。どのような機器・基準で判断しているか。

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			(ウ) 作業中の換気体制やガス警報器の装備はどのようになっているか。 ウ 安全教育・訓練の実施状況について (ア) 作業員に対して、有毒ガス対策を含む安全教育はどのように行っているか。 (イ) 模擬訓練や事故対応のマニュアル整備はあるか。 (2) 道路陥没事故への市の備えと現状確認について ア 日常点検・予兆把握の体制について 道路の下に埋設されている下水道・水道管・空洞等の調査はどの頻度で実施しているか。 イ 異常沈下発生時の緊急対応体制について (ア) 緊急対応マニュアル・連絡体制はどうなっているか。 (イ) 住民からの通報後の対応時間や情報共有の流れはどうなっているか。 (3) インフラ全体への予防的管理の姿勢について ア 下水道、道路以外にも、橋梁、都市公園、上水道施設、これら市内インフラの老朽化状況はどのように全体把握しているか。 イ 財政的な制約がある中で、予防的保全と事後保全のバランスはどう取っているか。
			2 失われた 30 年について (1) 失われた 30 年で日本経済と我々の暮らしはどう変化したか、認識を伺う。 (2) それを受け市民の暮らしを守るための施策を伺う。